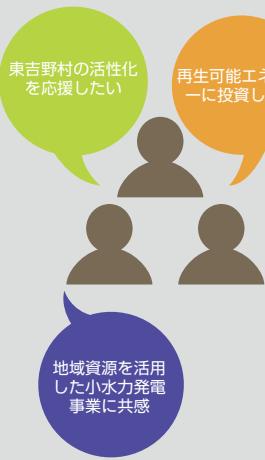


東吉野村 つくばね小水力発電 復活ファンド

奈良県東吉野村には、大正3年から昭和38年までの約50年間稼働していた「つくばね発電所」がありました。この「つくばね発電所」を小水力発電所として復活させます。事業による収益は村の活性化を目的に役立てます。本ファンドでは、その小水力発電所開設資金の一部を募集します。

応援する



分配金
投資家特典

第二種金融商品
取引業者



匿名組合
出資

事業を行う

東吉野水力発電
株式会社
(非営利型)
匿名組合契約
「東吉野村 つくばね
小水力発電復活ファンド」

投資家特典

出資者全員 東吉野村 つくばね発電所 現地見学ツアー（参加費実費負担）
30口以上 東吉野村 つくばね発電所建屋内に設置するプレートへのお名前の掲載

ファンドの詳細は、インターネットでご覧いただけます。「東吉野村 つくばね小水力発電復活ファンド」で検索

ミュージックセキュリティーズ株式会社
大阪セキュリティーズ株式会社 担当：山崎
TEL06-6485-7398
info@oosec.jp

お問い合わせ

お手続き方法

会員登録

ファンド申込

ご入金

本人確認

music securities

大正時代より村に電力を供給していた 「つくばね発電所」

奈良県東吉野村では、地域に電力を供給するために大正時代より水力発電事業が行われてきました。大正元年、当時の地元有力者である船津弥八郎氏によって「吉野水力電気株式会社」が設立され、大正3年より「つくばね発電所」が稼働していました。その後、関西配電から関西電力に移行し、つくばね発電所は昭和38年に閉鎖となりました。

半世紀の時を経て復活する水力発電

東吉野村は近年過疎化が進み、1970年には人口が7,028人でしたが、2010年には、2,143人となり、2035年には897人にまで減少することが予測されています。このままでは、集落を維持できないという課題があります。東吉野村には各区内に幾筋も谷川があります。この水資源を活かした地域づくりを計画し、村民が一丸となって地域づくりを行うことを目的に、平成25年8月「東吉野村小水力利用推進協議会」を設立しました。そして、東吉野村が「生き生きと笑顔あふれる村」となることを推進するために「つくばね発電所」を復活させるプロジェクトが始動しました。

エネルギー効率が高く、 24時間稼働できる小水力発電

水力発電は、川に流れる水を使用するため、CO₂や廃棄物を出しません。燃料も不要で、純国産エネルギーとして活用できます。そして、太陽光や風力発電とは異なり、季節、時間帯によらず24時間安定的に発電することができる利点があります。日本は雨量が多く急勾配の河川が多いため、水力発電に適しています。その一方で、水力発電所を設置するためには貯水のための大規模なダムを建設する必要がありますが、小水力発電であれば、その必要もありません。



東吉野村の丹生川上神社（とうかわかみじんじゃ）のご祭神「罔象女神（みづはのめのかみ）」は、水の神様 雨師明神として信仰されています。全国各地より水に携わる水利業者を始め、水道や電力関係などの多くの事業者が参拝に訪れます。

ファンド概要

出資募集最大総額	52,500,000円	出資募集口数	1,750口	申込上限口数	100口
1口出資額	31,710円/口(出資金：30,000円 取扱手数料：1,710円)				
資金使途	つくばね小水力発電所建設工事費の一部	50,000,000円	予備費	2,500,000円	
ファンド対象事業	奈良県吉野郡東吉野村のつくばね発電所で行う小水力発電事業です。				
募集受付期間	2015年1月30日～2015年7月30日	会計期間	5年間		
事業計画	売上金額109,902千円(5年間)※発電量/時間82kW 償還率115.1%(源泉徴収後償還率112%)				

※事業計画達成時の売上金額と償還率です。営業者は、本匿名組合事業の売上金額として、本事業計画の売上金額を保証するものではなく、匿名組合員に対し、分配金額を保証するものではありません。